

四日市版コミュニティスクール報告書（令和6年度総括）

四日市市立三重小学校

校長 金原 正紀

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

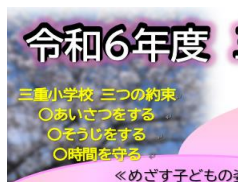
- (1) 笑顔キーワードとして、学校・保護者・地域が協働して取り組んできたことを継続・発展させます。
- (2) 保護者や地域の声を反映した教育活動を進めるとともに、学校とともに子どもを育てる中心的な役割を果たします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について**(1) 教育活動の実践事例**

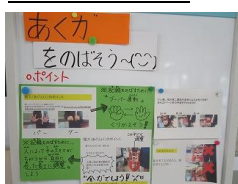
地域の教育力を生かした活動を行っています。職員の意識も例年以上に向上し、各学年とも地域と協働した実践を積み重ねてきています。

学校行事・各学年の行事、授業の様子をスライドや動画を通して児童の様子を紹介しています。また、実際に授業している時や、休み時間の時の様子を参観いただきました。

5回あるコミュニティスクールのうち1回は、栄養教諭より給食室の様子や給食の大切さについての話をし、委員の皆様には給食の試食を体験していただきました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果**★学校づくりビジョン（三つの約束）にちなんで**

三つの約束「あいさつをする・そうじをする・時間を守る」を意識して、学校全体で取り組んでいます。朝、地域の方や保護者の方に登校を見守っていただき、友だちや職員だけでなく、地域・保護者の方にもあいさつをしようとして取り組んでいます。そうじは、『無言清掃』に取り組んでいます。学校を綺麗に保つために一人ひとりが役割をもって頑張っています。トイレのスリッパや、脱いだ上靴など、整理整頓にも努めています。

**★体力の向上**

休み時間には、運動場で遊ぶ子が多いです。コミュニティの委員の皆様からも、「元気に遊ぶ姿がたくさん見られ、とてもいいですね」と言っています。さらに体力を向上するために、いろいろな取組を進めてきました。スポーツテストの時期には、休み時間に体育館を開放し場を設け、楽しみながら取組を進めました。全校のみんなが通る廊下には、『握力をのぼそう』コーナーを設け、挑戦する姿がありました。



★本に親しむ



本を見る・読む姿がありました。



図書ボランティアの方が中心となり、4年生の子どもたちに読書の面白さに気付いてもらおうと、ブックトークを実施しました。その後に、子どもたち一人ひとりが、自分で読みたい本、図書室に置いてほしい本を1冊ずつ選びました。自分たちの選んだ本は、図書室に並んでいます。子どもたちは、自分の選んだ本が図書室に入るので、さらに読書をしようという意欲につながりました。

新しい取組として、『移動図書館』をしました。青空のもと、子どもたちに本を気軽に読んでもらおうと取り組みました。コミュニティスクールの委員の方にもお世話になり、低学年（1～3年）・高学年（4～6年）と分けて日を設定し、行いました。普段なかなか本を読まない子もふと立ち止まり、



★地域・保護者の方とともに



年3回行っています。子どもの参加も多く、奉仕活動の精神が養われています。学校でも掃除の時間は、一生懸命にする姿がたくさん見られます。

コミュニティスクールの方の要望で、5年生による『合奏』をしました。地域行事に参加することで保護者の方の参加も増え、活気が増しました。子どもたちの活躍は何より地域の発展につながっています。

資源回収では、地域の方や保護者の方に協力いただき、



楽しんで活動する姿がありました。4年生は、体育館でボッチャを一緒にしました。子どもたちは、自分たちで「声かける人をやりたい」「ルールわかった」「楽しい」など盛り上がりました。誰もが活躍できるので、楽しみながら活動できました。

長寿会の方・コミュニティスクールの方など、ボランティアとして十数名の地域の方に来ていただき、昔の遊びやボッチャを一緒に交流しました。1年生の子どもたちは長寿会の方たちから遊びを教えてもらい、共に交流することで



今年もプールボランティアを保護者の方から募り、子どもたちの水泳の授業を見守っていただきました。学校のPTAとして進んで協力いただけています。水泳の安心・安全な授業を行うことができました。また、子どもたちにとっても、近い存在であり、保護者の方にとっても子どもの

ことをよくわかってもらえ、よい取組だと感じています。

★出前授業・地域学習等 人とのであい学習



体験活動として、三重地区にみえる萬古焼の陶芸家から、萬古焼は四日市の伝統産業であることを伝えてもらい、自分たちも本格的に陶芸体験をしました。自分の作ったものの焼き上がりを見て子どもたちも喜んでいました。

校区内にある三重交番や消防団詰所を見学し、地域の方の働く姿を実際に見たり、仕事について話を聞いたりしました。出かける際の引率のお手伝いも保護者ボランティアの方にしてもらいました。



3 今後に向けて



今年度も、食育にスポットを当て、給食の試食も一緒にしていただきました。栄養教諭から、学校給食で大切にしていることや、子どもたちには安全・安心第一で給食を提供している話をしました。今後も続けていきたいです。

みえ委員会との協働により、地域と教職員との距離が近くなり、お互いが自然体で交流を深めることができています。子どもたちの授業の様子を視察したうえで、教育活動や学力向上についていろいろな立場からのご意見をいただくことができ、学校運営の改善につながっています。

みえ委員会で意見交流をさらに深め、学校の実態をより理解していただく活動を続けます。また、学校だよりやホームページ等を活用し、地域や保護者に広く情報発信していきます。

今後も、「学校・子どもを支える応援団」という形で、本校教育活動に参画いただき、ビジョン達成に向けた学校づくりを推進していきます。

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 三重小学校

委員長 藤澤 和実

学校長 金原 正紀

月	協議会の開催	活動内容
4		
5	第1回三重小学校コミュニティスクール運営協議会（みえ委員会）	・委員の委嘱 ・授業参観 ・令和6年度学校づくりビジョンについて ・委員の皆様から（情報交換）
6		
7	第2回三重小学校コミュニティスクール運営協議会（みえ委員会）	・授業参観 ・今年度の活動 ・6・7月の様子紹介 ・委員の皆様より（情報交換） ・150周年に向けて
8		
9	第3回三重小学校コミュニティスクール運営協議会（みえ委員会）	・授業参観 ・今後の予定 ・1学期末・夏休み・2学期初めの様子紹介 ・委員の皆様より（情報交換） ・150周年に向けて
10		
11		
12	第4回三重小学校コミュニティスクール運営協議会（みえ委員会）	・給食の話（スライドを通して）・実食 ・給食準備中の参観 ・2学期の様子紹介 ・委員の皆様より（情報交換）
1		
2	第5回三重小学校コミュニティスクール運営協議会（みえ委員会）	・学校行事・学年行事・日常の様子紹介 ・学校評価の結果（総括） ・関係者評価 ・委員の皆様より（情報交換） ・来年度に向けて
3		